

明るい漁村

JF 漁業協同組合 JFしまね
JFしまね

第164号

発行日：平成19年6月20日

編集兼発行人：漁業協同組合JFしまね

題字：澄田(前)鳥根県知事

印刷所：松村印刷株式会社

水産政治力結集.....	2
竹島の日記念式典開催.....	3
鳥根県漁協女性部50周年記念式典開催.....	3
第12回全国青年・女性漁業者交流発表大会開催.....	4
浜の声～安藤准二さん(JFしまね西郷支所所属).....	5
浜の出来事.....	6
お知らせコーナー.....	7～11
ひとこと随想.....	12



笠浦大敷新造船
(JFしまね美保開支所 笠浦出張所)

オール水産の力で

水産政治決戦に勝利しよう!!

水産のプロを国政へ

〜丸一よしのり島根県後援会〜

厳しい漁業環境が続く
中、全国の漁業関係者が
真に求めている水産振興
施策の立案に向け、現役
漁師「丸一よしのり」氏
を参議院全国比例区の水
産代表に推薦した。

本県における後援会加
入者も1万人を超える勢
いで、「オール水産の力
で我々の仲間を国政の場
に」を合言葉に浜での知
名度も徐々にではあるが
上がっている。これから
もさらに漁業関係者の力
を結集し、支援の輪を広
げ水産政治決戦に勝利し
よう。



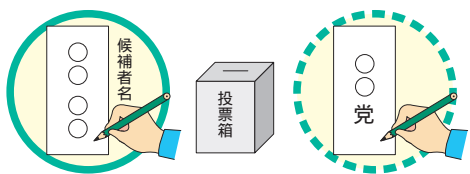
丸一よしのり < 5つの約束 >

- 1 日本の水産を守ります!
- 2 豊かな海の資源と環境を守ります!
- 3 安全でおいしい水産物を食卓にとどけます!
- 4 人にやさしい、美しく、災害に強い漁村をつくりまします!
- 5 将来に夢をつなぐ漁業・水産業をつくりまします!

参議院議員選挙の投票の方法

比例代表選挙

候補者名、または政党名を書いて投票します。



参議院の比例区は、6年前の第19回選挙より拘束名簿式から非拘束式に制度が改正されました。これは、比例区も候補者の名前を書くことで、その得票の多い順に当選順位を決定させるものです。したがって、比例区では候補者の氏名を書くことが大変重要になりました。(政党名を書くことも可能です。)

参議院比例区 の選挙は 名前を書く 選挙です

投票日に投票所に行くことができない見込みの方は?

投票日前でも直接投票箱に投票できる

期日前投票をご利用ください。

期日前投票ができるのは次の場合等です。

仕事 **出漁** **旅行** など

知ってますか? 「洋上投票制度」

指定船舶(かつお・まぐろ・さけ等)に乗船する船員のためのFAXを利用した不在者投票制度です。(出港前の手続きが必要です。お早にもよりの漁協・漁連等にお問い合わせください。)

休漁(市)の日も 「投票日」!

より投票しやすい
期日前投票制

投票日に仕事や旅行などの予定がある方は、期日前投票・不在者投票を

公示の翌日から投票日の前日まで行われ、その間投票日と同様、直接投票箱に投票することが出来ます。

投票できる期間は、選挙期日の公示日又は告示日の翌日から投票日の前日までの間です。

投票できる時間は、原則として午前8時30分から午後8時までです。(土曜日や日曜日も同じ時間にできます。)(期日前投票所は、区市町村の役所・役場などに設けられます。)

竹島問題の早期解決へ

「竹島の日」記念行事

平成17年に島根県条例で「竹島の日」が制定されて以来、今年で2回目となる記念行事が、去る、2月24日（土）島根県民会館（松江市）に於いて開催された。当日の記念式典と領土問題を考えるフォーラムに関係者他、JFしまねからも合わせて約450名が参加した。

は、学校教育で地道に問題について理解させ、後継者を育成していくことが重要である。「また「政府を動かすために近県などと連携を図っていくことも必要。」と北方領土に関する事例を取り上げながら領土問題について講演を行った。

一方、黒田勝弘産経新聞ソウル支局長は、「竹島問題が日本国内の問題でもあることを肝に銘ずることが必要である。」と述べた。

フォーラムでは、講演並びに研究報告が発表され、佐瀬昌盛防衛大学名誉教授

また、下條正男竹島研究会座長は、「韓国側の竹島領土権の主張が、日本の一部研究者による韓国寄りの主張を論拠としており、また、古文書からも歴史的根拠を垣間見ることができないことについて、研究会として反論してきた。今後は、研究結果をまとめ、その報告書を啓発活動などへ大いに活用して欲しい。」と述べた。



島根県漁協女性部連合会 創立50周年記念式典開催



式辞を述べる青山県漁協女性連合会長

役割も多様化し、県行政の諮問機関への参画など、多方面にわたる積極的な活動を行っている。

青山幸子県漁協女性連合会長は、「これまでの様々な活動について、原点に戻って意義を再認識するとともに、JFしまねの健全な漁協経営のために協力していきたい。そして明るく豊かな漁村地域づくりに一層の努力をしたい。」と式辞を述べた。

島根県漁協女性部連合会（以下、県漁協女性連）の創立50周年を記念する式典が、去る、2月23日ホテル一畑（松江市）に於いて、各地区の部員をはじめ、約100名が出席し開催された。

昭和32年、島根県内各浜の漁協婦人部により結成され、これまで、明るく豊かな漁村社会づくりの為に、魚食普及、環境保全、貯蓄推進など、様々な活動に取組んできた他、最近では、社会的活動・

続いて、本県漁協女性連の振興に特に貢献された歴代会長へJFしまね会長からの、また、各女性部において永きにわたり役員を務めた方、会員として各活動に尽力された各女性部へ県女性連会長からの感謝状が授与された。さらに、県漁協女性連50年の歩みとして、これまでの永きにわたった主な活動について、スライド映像を交え、当時の様子などを振り返り、県漁協女性連のさらなる結束を誓った。

第12回全国青年・女性漁業者

交流発表大会

小島氏 『JF全国女性連・JF全国漁青連会長賞』
青山氏 『農林水産大臣賞』を受賞



去る、3月7日、8日、

虎の門パストラル（東京都）において、第12回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、本県から青年の部に小島貴志氏（JFしまね大社支所多伎出張所）、女性の部に青山幸子氏（JFしまね恵曇支所女性部「むつみ会」）が代表として出場し発表した。

小島氏は、「定置網漁業を基盤とした複合経営の実践」をテーマに発表。定置網乗組員として操業に携わる傍ら、兄弟で採介藻や刺網など兼業として始め、徐序に安定した

漁業収入を得ることができるようになり、さらに「これから漁業を始める新規漁業者へのモデルとなるよう」また「安定した収入を得られるよう今後も努力していきたい」と思いを述べた。

青山氏は、「えとも女性部魚食普及チャレンジ活動」をテーマに発表。「かんかん部隊」と称される行商人等が中心となって、地元恵



青年部代表 小島氏

曇漁協女性部を結成し、魚食普及に特に力を注いだ。その後、部員としての自覚と意識を高めるため「むつみ会」を結成し加工・販売部門を独立させ、機器の整備と充実化に取り組むことにより、時間的な余裕ができ、製品づくりの研究など部員に積極性が現れ、商品の生産量や売り上げが伸びたとし、今後は「魚食普及をはじめ、地元での働く場所の確保や漁家収入の向上を目的に取り組み、地域の活性化や女性の漁村における地位の確立にも努めていきたい。」と更なる意欲を述べた。

結果は、小島氏がJF全国女性連・JF全国漁青連会長賞（大会で5名）を受賞。青山氏は、大会において最高賞の農林水産大臣賞（大会で5名）を受賞した。



女性部代表 青山氏

漁の声

第3回

あんどう じゅんじ
安藤 准二さん（JFしまね西郷支所所属）

日本海に浮かぶ大小4つの島からなる隠岐最大の島、島後に位置する西郷港。
中型まき網漁業やカニ籠漁業、バイ籠漁業をはじめ、一本釣り、刺網、カナギ漁など沿岸周辺海域でも様々な漁業が営まれている。その中で、今回は一本釣り漁師さんの「浜の声」を聞いた。



ベテランUターン漁師

現在57歳の安藤さんは、漁師歴35年のベテラン漁師。若い頃、大阪で製造業の仕事に就いたが、見渡せば海や山がある隠岐とは違い、どこか落ち着かなく窮屈な都会の暮らしに慣れない自分がいたという。そんなころ漁師であった



父親の一言がきっかけで思い切つて漁師への道を選び父親の後を継ぐ決心をした。

出漁すれば必ず船酔い…

父親を師匠とし、漁師の修行を始めた頃、出漁する度に船酔いを繰り返した安藤さんだが、持ち前の根性と負けん気でそれを克服。「一度も漁師を辞めようと思つたことはない」という。「一本釣り漁師は特に自分の腕が全て。努力するもしないも自分次第。そんなところにやりがいを感じるね」という安藤さん。年間を通し主に沖メバル、ダルマ（メダイ）、ベニイカ等季節の魚を追っている。いつも漁のことを考えている安藤さんの趣味は、『釣り』。時化で海に出れない時でも体を休めることなく、『漁

具作り』に没頭するほど、とにかく釣りが好きだという。

離島のハンデ…

本土では燃油の高騰で行きたい漁場にも行けず、思った魚が出来ない一本釣り漁師がいる中、隠岐の島では、港を出て数分のところに良い漁場がいくつもあるという。しかし「本土にはない離島であるがゆえのハンデもある」という安藤さん。それは隠岐から本土までの「輸送問題」。運搬船に積むにも、運送会社に預けるにもお金がかかる。運賃もさることながらも一つ一つの思いもある。「市場に出場されるまでどうしても本土より1日多くかかる。隠岐の鮮度のよい魚をもっと早く消費者に届けたい。これから先の輸送手段の改良

をJFしまねにお願いしたいねえ」とポツリ。

魚礁は大切！

ここ数年の海の変化、年々魚が減ってきていること、これから先も回復が期待できないことについて「海の中の調査・研究もさることながら、魚の産卵場所を作つてやるのが大切。もつと積極的に魚礁を設置すべきではないだろうか・・・」と力強く語っていただいた安藤さん。
長く漁師を続けることが目標という安藤さんの『海と魚』に対する熱い思いを感じた。

早く取材に応じていただいた安藤さんにこの場を借りて御礼申し上げます。

浜の出来事

活締めでブランド化

「大社ブリ」

JFしまね大社支所

出雲市大社町沖は、全国でも有数のブリの漁場。現在、大社地区の組合員等が中心となり、釣り（主に曳き縄釣り）で漁獲するブリについて「大社ブリ」としてブランド化に取り組んでいる。



延髓締めに挑戦する参加者

延髓締めに挑戦する参加者
事務所の協力により、鮮度に関する化学的根拠に基づき結果から、漁獲後に船上でも可能な方法として、延髓締めと脱血処理について、昨年10月にJFしまね大社支所で実地講習が行われた。また、今年2月には、大社地区の組合員と松江水産事務所によって、活締め処理の方法を周知するためのマ

当時、

大社のブリは、市場での鮮度に対する評価が低く、また、3月から5月にかけて水揚げが最盛期となり、需要期から外れるなどの要因から魚価が低迷したこともあった。しかし、近年、水氷処理でも鮮度が保たれていることが実証され、さらに鮮度保持の効果を高めるために、活締め処理を取り入れることで、活き



活処理済みの専用ステッカー

の良いブリとしてPRを図り、魚価の向上を狙っている。
ブリの活締め処理は、松江水産事務所の協力により、鮮度に関する化学的根拠に基づき結果から、漁獲後に船上でも可能な方法として、延髓締めと脱血処理について、昨年10月にJFしまね大社支所で実地講習が行われた。また、今年2月には、大社地区の組合員と松江水産事務所によって、活締め処理の方法を周知するためのマ

ニユアルも作成されている。

数年前から各地区で主要魚種の活締め処理は検討されているが、仁摩地区がメダイに取り入れている他は、地域全体で取り組んでいるところがほとんどない。現在、大社地区では、ブリの規格（4kg以上）について活締め処理を徹底し、専用ステッカーを貼って県外市場へも出荷しており、今後も地域一体となって出荷対策や品質向上など魚価の向上に向けた取り組みを検討している。

恵比寿祭り

5月13日（日）JFしまね美保関支所笠浦において毎年恒例になつている「恵比寿祭り」が開催されました。この祭りは、夏場に向け大漁と操業の安全を祈るもの。この日は、新造された笠浦大敷船（全長25m、全幅6・0m、総トン数19t）のお披露目ともなりました。午前10時30分祈願神事が行われ、巫女舞や若松の唄の奉納などを終えると、出席者は多くの大漁旗で彩られた大敷船に乗り



込み出港し、沖合の大敷網の網口にて再び豊漁を祈願しました。神事を終えた。

た船越佐一笠浦大敷組合長は「お祭りは今日一日。とにかくこの船が満船となる日が続かなければいけない。」と気持ちを引き締め今後の大漁を願った。



JFしまね信用部からのお知らせ

ほっと倶楽部会員様限定

金利優遇定期貯金「ほっとプレミアム」取扱のお知らせ



金利を優遇させていただく、とつてもお得な定期貯金です。

是非ご利用いただき、ほっと倶楽部会員様のプレミアム感を味わってください。

今後もしもJFマリンバンクしまねでは、ほっと倶楽部会員様へのさまざまな特典、企画等をご提供してまいりますので、引き続きJFマリンバンクしまねをご愛顧いただきますようお願いいたします。

JFマリンバンクしまねの口座にて年金をお受取りいただいております。ほっと倶楽部会員様のみを対象とした金利優遇定期貯金「ほっとプレミアム」の取扱を平成19年4月2日から開始いたしました。

ほっと倶楽部会員様であれば

いつでも（取扱期間を限定して

おりません）

いくらでも（お預入上限はありません）

いつでも（自動継続後も優遇

金利で書換えいたします。）

商品概要：

【対象貯金】スーパー定期・スーパー定期300・大口定期

【お預かり期間】1年

【継続区分】自動継続式（元加方式、利払方式いずれでも可）

【適用利率】お預入時の店頭利率に0.1%を上乗せした利率を適用いたします。

【その他】

- ・定期貯金通帳のみのお取扱とさせていただきます。
 - ・本定期貯金の口座開設は年金をお受取りになっている店舗に限らせていただきます。
- 詳細はお近くの信用窓口までお尋ねください。

JFしまね指導部からのお知らせ

― 漁業就業支援フェア開催決定!! ―

島根県漁業就業支援フェア2007（指導部内）

このたび、水産庁における「新規就業者確保・育成支援事業」の一環として「漁業就業支援フェア2007」が開催されることとなりました。

本事業は漁業になじみのない就業希望者が円滑に漁業に就業することができるよう、漁業現場での長期研修を実施、新規漁業就業者の確保育成を促進して漁村地域の活性化を図ることとしております。

このフェアは漁師を目指す研修生と受入を希望する漁業者が直接話せる貴重な場を提供するもので、平成19年度水産庁の事業予算の拡充を受けて、本年度は開催回数「7回（昨年度「3回」、開催場所は従来の東京・大阪から新たに仙台・広島・福岡と拠点都市を更にカバーする充実したものになっております。

島根県漁業就業支援育成センターにおいても、近年、都会地における雇用の回復から新規漁業就業希望の問い合わせは年々減少傾向をたどり、本フェアの占める役割は非常に大きなものとなっております。

このことは全国的な傾向にあって、今回は更に苛酷な競争が展開されるものと予想されますが、新たなやる気のある若者との出会いを求めて、県内から定置網・大中型まき網・沖合底曳網・小型底曳網・イワガキ養殖、一本釣り漁業の15経営体、1自営漁業者が受入団体として参加します。

本県から参加予定の開催日程は次のとおり

- 1 6月16日(土)大阪会場
「梅田スカイビル」
- 2 6月23日(土)東京会場
「コートメダリアン」
- 3 7月14日(土)広島会場
「広島YMCA」
- 4 7月28日(土)福岡会場
「福岡ファッションビル」
- 5 8月18日(土)大阪会場
「梅田スカイビル」
- 6 8月25日(土)東京会場
「東京国際フォーラム」
- 7 7月21日仙台会場への参加希望なし

JFしまね指導部からのお知らせ

島根県漁業無線海岸局1局化構想まとまる

「島根県漁業無線局（仮称）」の設立に向けて

本組合では、長年に亘って懸案となっていた、漁業用無線海岸局の1局化構想をまとめ、本年度施設整備、平成20年度運用開始に向けて動き出した。

目的

現在11局ある漁業用海岸局を1局に統廃合することにより運営と運用の合理化を図るとともに、所属漁船の24時間の通信需要に対応可能な通信体制を構築し、生命財産の保全、航行の安全と操業能率の向上等、本県沿岸における漁船漁業の振興に寄与する。併せて、外国漁船などの監視にあたる海の国境警備などの危機管理に対応できる体制を整備するとともに、島根県が開設している漁業指導用海岸局を共同管理することにより合理的運営を行うことを目的とする。

（1）現状

漁業用海岸局の現状と問題点

海岸局は現在11局（七類、島根町、恵曇、佐香、大社、仁摩、江津、浜田、益田、西郷、浦郷）所属船舶局は超短波SSB、DSSBで1,302局。
海岸局の免許人は漁業協同組

合JFしまねであり、各海岸局の通信業務及び管理運営は所属支所職員が行っている。

（2）問題点

海岸局の運用状況は24時間体制を確立しているものは数局しかなく、その他の海岸局は昼間のみの運用となっている。
沿岸漁業用海岸局の通信エリアにおいて、一部通信不能地帯がある。漁船が所属する各海岸局の通信エリアを離れると所属局との通信ができなくなる。

各海岸局の多くにおいては、賦課金収入だけでは施設改善などへの対応が出来ず、海岸局を運営していくことが負担となっている。

1局体制のメリット

（1）現存の11局全局を廃止して島根県漁業無線局（仮称）を設立し、浜田（県無線指導所所在地）に置く

こととする。また、4ヶ所の中継局（三坂、佐田、高津、隠岐横尾山）で県下全域をカバー。

（2）島根県防災行政無線の施設・回線を利用した漁業無線局の1局化を構築することにより、将来にわたって安定した通信サービスが可能となる。また、通信エリアの拡大により島根県漁業無線局（仮称）が周知する気象情報、航行、警報等の海上防災情報や、漁海況速報、市況等の漁業情報を直接受信できるため、海難事故の未然防止と操業能率の向上につながる。

（3）24時間通信と通信不能地帯がなくなるため、一人乗り漁船の海中転落事故における生存救助の確率を飛躍的に高める。「小型漁船緊急通報システム」（左図）の導入が可能となる。

施設整備費

（事業年度 平成19年 概算）
事業費 230,000千円（うち国交付金1/2）

まとめ

昨今の漁業不振の中で長期的に安定した沿岸漁業無線通信を確保するためには、これら海岸局の統廃合による一局集中中心局を整備し運営体制の確立を図ることが必要不可欠である。

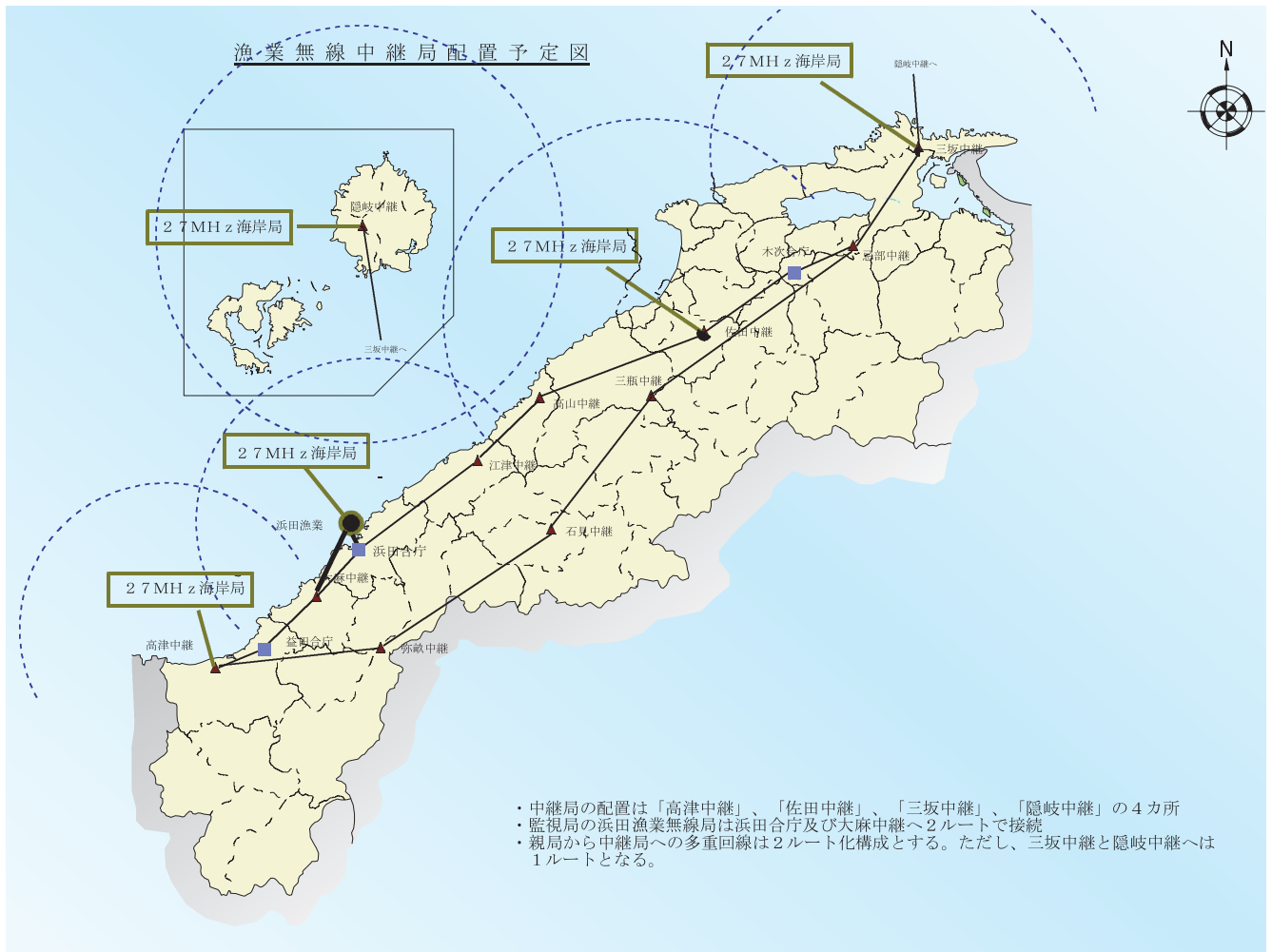
このことは、単に経営の合理化運

営体制の確立を図るのみならず、「24時間聴取体制の確立」と「通信エリアの拡大」等のメリットが期待できることから、県下全域における漁船の航行の安全の確保と操業能率の向上を図ることによって漁船漁業の振興に寄与することができる。

よって、漁業協同組合JFしまね設立を機に、平成19年度施設整備、平成20年度運用開始に向け体制構築を官民一体となって取り組んで行くこととする。

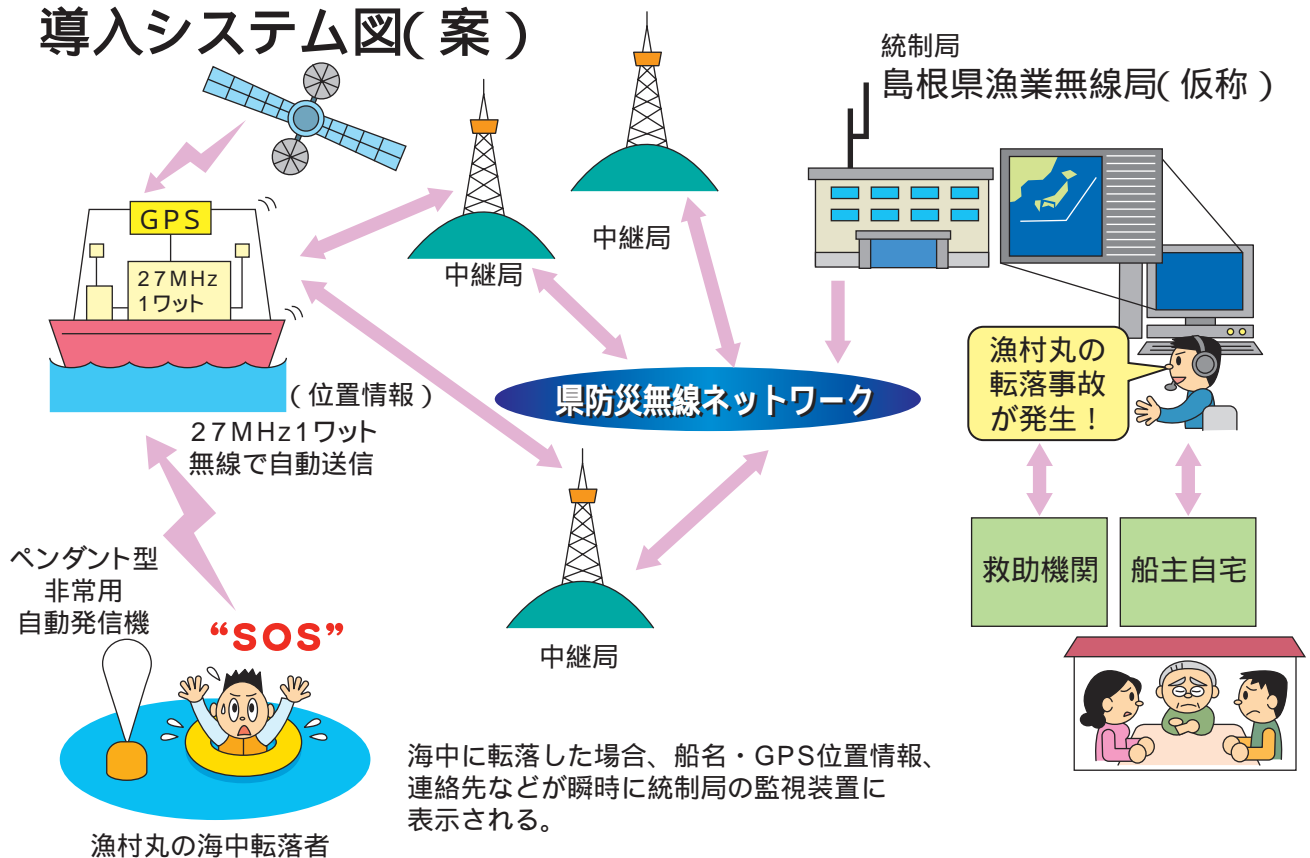
スケジュール

内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度～
詳細設計	——		
施設整備	——		
運用開始		——	
県指導業務受託		——	
県施設使用料受入		——	



小型漁船緊急通報システム

導入システム図(案)



JFしまね総務部からのお知らせ

JFしまね人事異動

異動発令 (平成 19 年 4 月 1 日付)

氏名	新 任	旧 任
浜田 勝文	参事・総務部長兼石見統括事業所長	石見統括事業所長

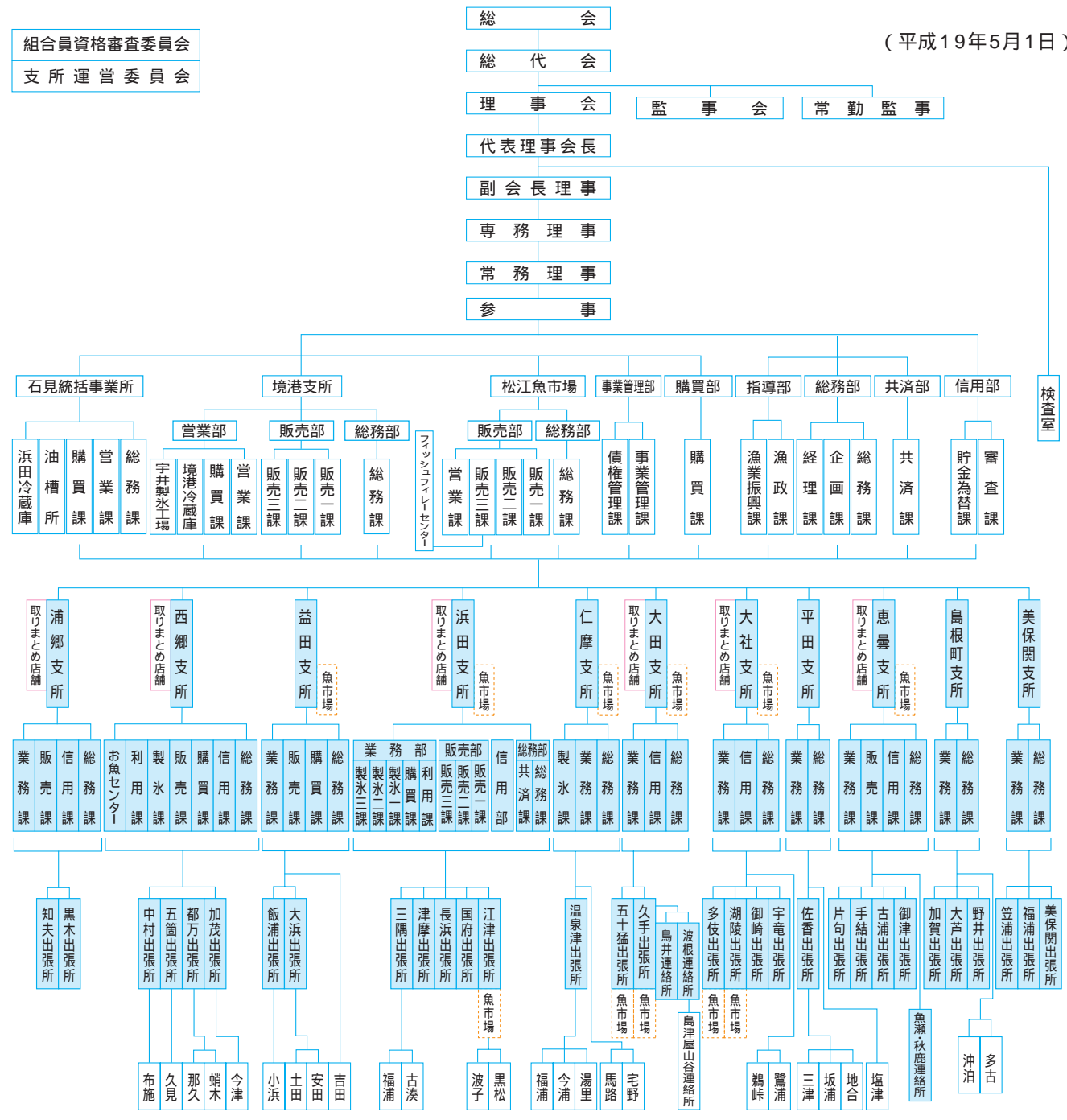
異動発令 (平成 19 年 5 月 1 日付)

氏名	新 任	旧 任
浜田 勝文	参事兼総務部長	参事・総務部長兼石見統括事業所長
縄 祐司	事業管理部長兼事業管理課長	事業管理部長兼事業管理課長・債権管理課長
小谷 考二	指導部長兼漁政課長	指導部長兼企画課長・漁政課長
草 本 正	購買部長兼購買課長	購買部長兼石油課長
中尾 由岐夫	境港支所長兼営業部長	境港支所長兼総務部長・営業部長
福本 匡弥	石見統括事業所長	松江魚市場販売部販売 3 課長兼フィッシュファイルセンター長
金 築 博幸	大田支所長兼総務課長	大田支所長
徳 若 博	浦郷支所長	浦郷支所長兼知夫出張所長
川 上 省 自	恵曇支所長	恵曇支所長兼信用課長
梶 野 勉	美保関支所長兼総務課長・福浦出張所長	島根町支所業務課長
落 合 孝 悦	平田支所長	平田支所長兼総務課長
船 越 勲	境港支所販売部長 (境港冷蔵庫担当兼務)	境港支所販売部長
金 村 慶 一	松江魚市場販売部長	松江魚市場販売部長兼販売 1 課長
青 山 利 泰	総務部次長 (経理、企画担当) 兼経理課長・企画課長	指導部漁業振興課長
中 村 光 夫	境港支所総務部長兼総務課長	境港支所総務部総務課長
藤 井 英 博	大田支所久手出張所長	大田支所総務課長
古 木 均	浦郷支所知夫出張所長	浦郷支所総務課長
越 前 太 幸	美保関支所美保関出張所長	美保関支所美保関出張所 (販売・購買)
川 上 義 幸	恵曇支所片匂出張所長	恵曇支所業務課 (冷蔵庫)
小 谷 正 也	西郷支所五箇出張所長	西郷支所総務課長
石 田 巖	事業管理部債権管理課長	信用部審査課長代理
金 森 浩 二	総務部総務課長	購買部資材課長
野 村 靖	指導部漁業振興課長	松江魚市場販売部販売 3 課フィッシュファイルセンター主任
荒 木 聖 志	総務部経理課	総務部電算課
川 上 和 夫	信用部貯金為替課	総務部電算課
松 本 真 輔	購買部購買課	購買部資材課
小 川 絵 里	購買部購買課	購買部石油課
松 本 聡	松江魚市場販売部販売 3 課長兼営業課長・フィッシュファイルセンター長	松江魚市場販売部営業課長
松 原 将 之	松江魚市場販売部販売 1 課長	境港支所営業部営業課長代理
玉 川 英 之	松江魚市場販売部販売 3 課フィッシュファイルセンター主任	境港支所販売部販売 2 課
中 村 智 明	松江魚市場販売部販売 1 課主任	境港支所販売部販売 2 課主任
河 瀬 大 志	松江魚市場販売部販売 1 課	大社支所業務課 (販売・購買)
中 路 恵 治	境港支所販売部販売 3 課長	境港支所販売部販売 3 課長代理
青 山 慶	境港支所販売部課長役 (販売 2 課)	境港支所販売部販売 2 課長代理
渡 部 賢 一	境港支所販売部課長役	境港支所販売部販売 3 課長
青 山 伸 一	境港支所営業部課長役 (営業課)	恵曇支所片匂出張所長
榎 野 伸 治	境港支所販売部課長役 (水産製品担当)	境港支所販売部販売 3 課長代理 (水産製品担当兼務)
川 本 昌 彦	境港支所販売部販売 1 課	総務部電算課
長谷川 和 清	境港支所販売部販売 2 課	松江魚市場販売部販売 1 課
山 本 展 生	境港支所販売部販売 2 課	松江魚市場販売部販売 1 課
上 田 隆 司	境港支所営業部宇井製氷工場	境港支所営業部境港冷蔵庫
吉 田 一 策	石見統括事業所購買課	境港支所販売部販売 1 課
笠 柄 浩 二	石見統括事業所浜田冷蔵庫	浜田支所業務部製氷 1 課
松 本 英 軌	美保関支所業務課長	美保関支所業務課 (販売・購買)
藤 岡 良	美保関支所業務課	指導部企画課兼漁政課
船 越 伸 治	美保関支所美保関出張所 (課長役)	総務部経理課長兼電算課長
鹿 谷 勉	島根町支所業務課長	美保関支所美保関出張所長
中 村 良 孝	恵曇支所信用課長	恵曇支所信用課
玉 木 康 典	平田支所総務課長	平田支所総務課 (信用)
錦 織 亜 由 美	大社支所宇井製氷工場	大社支所信用課
堀 一 也	大田支所久手出張所	石見統括事業所営業課

氏名	新任	旧任
橋本 義之	浜田支所業務部製氷1課	浜田支所総務部総務課(指導)
山口 菜穂子	浜田支所国府出張所兼津摩出張所	浜田支所信用部
堀野 勝美	益田支所総務課(経理)	益田支所総務課(信用)
日高 美千子	益田支所総務課(信用)	益田支所総務課(庶務・指導)
吉原 和男	西郷支所総務課長	西郷支所五箇出張所長
佐々木 広美	西郷支所総務課	西郷支所都万出張所(津戸)
野津 喜美子	西郷支所信用課	西郷支所加茂出張所
斉藤 和子	西郷支所加茂出張所	西郷支所信用課(経理)
藤野 雅美	西郷支所都万出張所(津戸)	西郷支所信用課
小中 一成	浦郷支所総務課長	浦郷支所業務課長代理
角新 政人	浦郷支所業務課主任	浦郷支所黒木出張所
新川 孝	浦郷支所業務課	浦郷支所販売課
横川 暁美	浦郷支所黒木出張所主任	浦郷支所知夫出張所主任

漁業協同組合 JFしまね機構図

(平成19年5月1日)





『伝説のイカ』

宗教的な理由からイカを食べない国もあるらしいが、幸い、日本では、食べることが出来る。日本人は太古より「イカ」を食べてきた民族。生食はもちろん、干物、発酵食品として各地で独自の製品が生み出されている。また、祝い事や正月飾りの縁起物として用いられるなど、今やイカは、日本人に馴染みの深いものとなっている。

近年の日本は、周辺海域のみならず、世界の海でイカ釣漁を操業し、また、輸入にも頼るほど、イカ好きの国である。そして、四方を海に囲まれ、魚にまつわる民話などが多数ある中で、イカにまつわる話しが隠岐郡西ノ島町に語り継がれている。「延喜式神名帳」(古代の神社名鑑)にある漁業神、海上守護神として島民が信仰を寄せる古社、「由良比姫神社」にその伝説がある。

由良比姫神社の神様は、名前にもあるように「姫神様」で、神無月には出雲の国や、他にも各地の神様から引つ張りダコであったようで、しばしば本土の「宴」に出かけていたそうである。ある日のこと、姫神様が隠岐の島に帰るため、イモ桶に乗って(宴での二日酔いをさましていたのか)手足を海に浸していた。するとそ

こにイカの軍団があらわれ、一匹がチヨツカイを出したそうだが、案の定、姫神様に大目玉。イカ軍団の親分は大いに反省し、それ以来、お詫びを兼ねて、毎年、初冬の夜中に由良比姫神社の入江へ大群で押し寄せ「イカダタミ」を作ったという言い伝えがある。

戦後しばらくは、由良比姫神社がある入江の浜にイカを待つための小屋もあり、イカが押し寄せると、待ち受けていた島民が腰まで海に浸かってイカを箆や手掴みで獲るのが、その季節の風物詩であった。最近では、定置網や護岸整備などによって入江に入ってくるイカの数が増減し、浜で待つ島民も少なくなつたが、昨秋は、久しぶりに数千を越えるスルメイカの大群が押し寄せ、たいへん賑わつた。

そんなイカにまつわる話もある隠岐郡西ノ島町では、平成十七年から隠岐の活きたイカを使った宅配が始められた。その名も「伝説のイカ」。試行錯誤の末、パイプ専用パックに入れられ、最近では、活きたヤリイカとケンサキイカが宅配されている。

自宅で泳ぐ隠岐のイカを食べてもらいたい、その一心から誕生した「伝説のイカ」。隠岐の島の新たな「伝説」となることを期待したい。

「伝説のイカ」運命やイカに：(ベタナギ) 皆様からのひとこと随想をお待ちしております。

JFしまね Information

今年も県内各地で「海の日(7/16)」を中心に海浜清掃を実施致します。たくさんの方々のボランティアの方々のご参加をお待ちしております。

●7月14日(土) 開催地区

- ・七類港周辺、美保関地先海岸、福浦地先海岸、笠浦地先海岸
- ・(JFしまね美保関支所管内)
- ・大社港周辺、湖陵港周辺
- ・(JFしまね大社支所管内)
- ・静間海岸、久手海岸、五十猛海岸
- ・(JFしまね大田支所管内)
- ・仁摩港周辺
- ・(JFしまね仁摩支所管内)
- ・浜田港周辺、黒松港周辺
- ・(JFしまね浜田支所管内)
- ・浦郷港周辺
- ・(JFしまね浦郷支所管内)

●7月15日(日) 開催地区

- ・十六島地先海岸、小津地先海岸、河下地先海岸、塩津地先海岸、美保地先海岸、三津地先海岸、小伊津地先海岸、坂浦地先海岸、地合地先海岸
- ・(JFしまね平田支所管内)
- ・大浜地先海岸、高津地先海岸、飯浦地先海岸
- ・(JFしまね益田支所管内)
- ・蛸木地先海岸
- ・(JFしまね西郷支所管内)
- 7月16日(月) 開催地区
- ・釜浦地先海岸
- ・(JFしまね平田支所管内)
- ・多伎港周辺
- ・(JFしまね大社支所管内)
- ・都万地先海岸、津戸地先海岸
- ・(JFしまね西郷支所管内)

温かい真心に感謝

平成19年1月11日から平成19年5月28日までにご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚く御礼申し上げます。

【一般募金】

- 中尾 由岐夫
- 青山 重明
- 和江漁協婦人部(大田支所)
- 鳥井漁協婦人部(鳥井連絡所)
- 恵曇漁協女性部(恵曇支所)

【見舞返し】

- 柏井 麗子
- 見国 一昭(三隅出張所)

皆様からのご意見やご感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地
漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係
※E-mail: shidou@jf-shimane.or.jp または、
FAX: 0852-27-6130でもお寄せ下さい。
本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。
<JFしまねWEBサイト>
<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

編集後記

最近真夏並みに気温が上がり、事務所では「あつたー(暑いなあ〜)」がよく聞こえます。ですが、朝方はまだ冷え込んだりするので、この温度差が風邪をひいたり、体調を崩す原因となります。夜暑いからといって布団を掛けずに寝るのは危険ですでお気をつけ下さい。自分も必ず幼い子供らには布団がかかっているか確認して寝るようにしています。(D)

明る、漁村 164号

編集兼発行人/漁業協同組合JFしまね
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575
TEL 0852-27-10001
FAX 0852-27-6130
URL <http://www.jf-shimane.or.jp/>